

2008年9月4日

地球と子どもの明日を考える<ガラスパワーキャンペーン> ～防災ガラスを宮城県「仙台市立長町小学校」に寄贈～

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：石村和彦）は、安全・防災・地球温暖化防止に向けた<ガラスパワーキャンペーン>の一環として、宮城県の仙台市立長町小学校に防災ガラスを寄贈することとし、指定避難場所である同校の体育館のガラス全て（計約125㎡）を防災ガラスに交換しました。

近年、地震や台風などの自然災害が多発し、割れたガラスによるケガや避難場所のガラスが割れて避難ができないなどの被害が発生しています。当社は2005年10月から2年間に亘り、割れにくく、また割れても破片が飛び散りにくい防災機能を持った「合わせガラス」の普及及び認知向上を目的とした防災ガラス寄贈活動「10×10プロジェクト（じゅっかけじゅうプロジェクト）」を展開してきました。

「10×10プロジェクト」とは、キャンペーン専用サイトに日本地図を用意し一般の方から任意の都道府県をクリックして頂き、クリック数が都道府県で20,000回に達した場合、その都道府県の指定避難場所に当社が防災ガラスを寄贈する活動です。2007年9月、宮城県のクリック数が20,000回を達成し、指定避難場所である「仙台市立長町小学校」に防災ガラスを寄贈することとなりました。寄贈先は宮城県をクリックした方へのアンケートをもとに決定しています。

なお、2007年10月末で「10×10プロジェクト」は終了し、2008年よりインターネット投票を通じた防災ガラス寄贈活動を行っております。具体的には、全国から公募された防災ガラス寄贈先候補からインターネット投票を通じて年間5件に対して防災ガラスを寄贈します。2008年度は第1期投票を6月に実施し、既に2件の寄贈を完了しており、11月の第2期投票において、寄贈先候補8件の中から3件の寄贈先を決定する予定です。

当社では、今後も参加者全員が実践者として自覚し積極的に実行する「参加型キャンペーン」を通じ、安心で安全な社会づくりに貢献していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：旭硝子（株）広報・IR室長 上田 敏裕

（担当：貞包 TEL：03-3218-5408 E-mail：info-pr@agc.co.jp）

◎ガラスパワーキャンペーン 事務局

（TEL：03-6238-4547 E-mail：glasspower@agc.co.jp）